

2020 年度

事業計画書

社会福祉法法人 時創福祉会
法人本部

<計画内容>

- 法人の現状把握とこれからの問題と課題の洗い出し

問題点として、安定したサービス提供を行うために、人材確保・人材育成・定着の難しさ、支援の伝達方法、グループホームの収支改善、利用者及び家族の高齢化対策、経営方針の抜本的見直し、グループホームみるみれにおける看取りなど、様々な問題点があり、経営安定の為に収支改善は前年度一部実地（グループホーム）しており、今後も引き続き改善を重ねます。

利用者支援安定の為に人材面を優先と考え、どちらも継続して問題解決の為に、主要職員と検討を重ね早期改善を目指し次年度も継続して計画実行してまいります。

- 法人本部を中心とし、各事業所間で情報の共有化を図るとともに、連携体制の強化。

パソコンを利用し、情報のデータ化を行い、個人情報については、特定者のみ閲覧可能、他の施設と共有する情報については、どのスタッフでも閲覧できるようにネットワーク作りを継続していきます。

- 会計事務所、監事との連携により確実な財務管理

会計事務所の定期訪問を実地して頂いており、月次決算の報告や助言。制度の変更などについて確認しながら行ってまいります。

- 新規事業計画及び組織再編

前回承認された、はうす隣接地の購入後、関係機関と協議を続けながら購入した土地での生活介護再編を進め、新規事業（居宅介護）については、2020年度内を目途に実地いたします。

⑥安心できる質の良いサービス作り

- 利用者支援の質の向上

各施設だけに留まらず、他施設と情報を共有できるよう随時施設間で支援内容の確認を行い、支援の質の向上に努めます。

- 職員体制、職務分掌の明確化

各施設で職務分掌の明確化する事により、情報集約やスタッフからの支援の流れをスムーズに検討出来るよう確立しつつありますが、職員の退職や休職のより崩れることもあり、休職時の引継ぎなど課題が残っており今後検討しながら職員体制の強化を継続して行ってまいります。

- 人材確保並びに教育、研修システム強化

研修については、各施設で行ってきました。人材確保については、地域での求人広告を入れるなど積極的に行ってまいりました。（前年度採用者は4名）退職者とほぼ同人数
今後も人材確保に努めながら教育・研修システムの強化を継続致します。

⑦リスクマネジメント体制作り

ヒヤリハット・事故等については、再発防止及び職員再認識を含め、適時開催する事が出来ました。ヒヤリハット・事故など、再発防止策を講じてまいりました。新人研修については、安定した支援を提供できるように、業務のマニュアル化や配置転換など施設で業務を円滑に対応できるような施設間での相互研修等引き続き課題と実施していきます。